

平成15年死亡災害

番号	災害発生年月日	業種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概要
1	平成15年1月22日	化学繊維製造業	男	36	はさまれ 巻き込まれ	ロール機 (印刷ロール機を除く)	不織布生産ラインの巻取り工程のリール取り替え作業を行っていたところ、動作中のアームに挟まれ被災したものの。
2	平成15年2月7日	警備業	男	68	転倒	その他の環境等	駐車場の警備業務中、凍結した路面で滑って転倒し、被災したものの。
3	平成15年2月9日	建築設備工事業	男	61	墜落・転落	屋根・はり・もや・ けた・合掌	セメント瓦葺き屋根の改修工事（瓦下の防水シートの張替、瓦の防水塗装等）において、被災者が、一階屋根瓦の取り外し作業中、軒高3.6mの屋根上より、地面に転落し被災したものの。
4	平成15年2月18日	その他の 金属製品製造業	男	64	崩壊・倒壊	金属材料	並べて仮置きしてある鉄製型枠材（縦120cm、横378cm、厚さ33cm、重量約2トン）を移動させるため、2.8トン天井クレーンでつり上げようとしたが、つり上げることが出来ず、原因を探っていたところ、玉掛けしていない方の型枠材が倒れ、これの下敷きになり被災したものの。
5	平成15年2月20日	その他の卸売業	男	51	はさまれ 巻き込まれ	その他の 金属加工用機械	ガス配管工事において、ガス管のねじ切り作業を行っていたところ、作業着がねじ切り機に巻き込まれ、巻き込まれた作業着により首を締め付けられ被災したものの。
6	平成15年3月29日	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業	男	52	交通事故 (道路)	トラック	工事現場から3名が普通貨物自動車にて帰社する途中、高速道路を走行中に後輪がバンクしたため、路側帯に駐車し、2名が降車して様子を見ていたとき、走行してきた普通貨物自動車に追突され、車外にいた2名が車体とガードレールに挟まれて負傷（1名は死亡）及び乗車の1名と追突した1名が負傷した。 追突車の前方不注意。停車した車も走行車線にはみ出していた。
7	平成15年4月17日	土地整理 土木工事業	男	64	はさまれ 巻き込まれ	基礎工事業用機械	農地区画整備工事現場において、車両系建設機械の建柱車（アースオーガー）が後退する際に、当該機械の後部にいた被災者を後部車輪で轢いたもの。 被災者は3週間後に死亡した。
8	平成15年4月22日	自動車小売業	男	45	はさまれ 巻き込まれ	乗用車・バス・バイク	レッカー車で牽引してきた故障車（車両重量13.3トンの医療用バス）を整備場内で牽引装置から切り離れたところ、右側後輪の車輪止めを乗り越えて故障車が後退し始めたため、その場に立ち会っていた被災者（現場管理者）が、故障車を止めようと後ろに回り込み、故障車と敷地の境のコンクリート壁との間に挟まれたもの。
9	平成15年5月8日	木製家具製造業	男	28	墜落・転落	屋根・はり・もや・ けた・合掌	木材を加工する際に、発生するオガクズを工場の屋根に設置したサイロに集積するが、当該サイロの調子が悪くオガクズが噴出し、工場の屋根に溜まった。 被災者は、そのオガクズを掃除する作業中に、スレート屋根を踏み抜き、約4m下の作業床に墜落し死亡した。
10	平成15年7月7日	電気通信工事業	男	47	交通事故 (道路)	乗用車・バス・バイク	工事現場に向かうために、事業所所有の自動車で高速道路を走行中、ガードレール及び標識柱に激突し、運転者が死亡。同乗者の2名も負傷した。 事故発生時には雨が降っており、スリップしたものの。
11	平成15年7月15日	電気通信工事業	男	53	交通事故 (道路)	トラック	工事現場に向かっていた被災者運転の1.5トントラックが、右折のために停車していた2トンドンプトラックに追突し負傷。 搬送された病院で出血性ショックにより死亡。

番号	災害発生年月日	業種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概要
12	平成15年7月31日	電気通信工事業	男	19	墜落・転落	その他の仮設物 建築物・構築物等	電柱へ電線を取り付ける作業において、被災労働者が高所作業車等の設備を用いない素上りで電柱に登り、高さ約10mの箇所にて電線の接続作業を行った後、電柱から降りる途中で、電柱のタラップを踏み外してコンクリート地面に墜落し、頭部を負傷した。
13	平成15年8月6日	その他の鉄鋼業	男	50	高温・低温 物との接触	高温・低温環境	被災者は朝から会社横の草刈作業を行っていた。昼休み後に再び草刈を行っていたが、午後3時ごろ一緒に作業していた同僚が休憩を伝えようと被災者を探したところ、うずくまっているところを発見した。 搬送された病院で熱中症により死亡。高温化の屋外作業で補水等がとられていなかった。
14	平成15年8月19日	上下水道工事業	男	47	崩壊・倒壊	地山・岩石	雨水排水施設改修工事現場において、ヒューム管の布設工事のための溝（勾配80度、幅2.1m、深さ1.9m、長さ15.8m）を掘り、被災者がその溝の中で均し作業を行っていたところ、幅0.7m、長さ6.3mにわたって側壁が崩壊し、生き埋めとなった。 土止め支保工等の地山崩壊防止措置がとられていなかった。
15	平成15年8月22日	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業	男	31	その他	高温・低温環境	アパート新築工事現場において、午前10時30分頃、足場上にて休憩していたが、熱中症により意識不明となり、搬送先の病院にて多臓器不全のため死亡。 災害発生当日の気温、湿度が高かった。
16	平成15年8月28日	その他の飲食店	女	72	墜落、転落	階段、さん橋	帰宅する前に店のごみを出すため、ごみ袋を持ってビルの共有部分である階段を下りている際に転落し、負傷。9月20日、外傷性脳内出血により収容先の病院で死亡した。
17	平成15年9月20日	その他の教育研究業	男	62	はさまれ 巻き込まれ	乗用車・バス・バイク	事業場に付属する駐車場内において、被災者が駐車ラインの塗装作業を行っていたところ、同駐車場に進入してきた軽乗用車に轢かれ死亡した。
18	平成15年10月25日	その他の土木工事業	女	57	交通事故 (道路)	乗用車・バス・バイク	軽貨物トラックで運行中、交差点内において右折しようとした際、直進してきた乗用車と衝突し、被災、死亡したものの。
19	平成15年11月11日	警備業	男	71	墜落、転落	はしご等	被災者は、定休日であったスーパーの防災センターにおいて、出入り業者等のチェックを行っていたが、休店日のスーパーにかかってきた電話に対応するために設置された、留守番電話の作動が悪かったため、回転式の椅子の座面の上に立ち、床上170cmの位置にある当該留守番電話の調整をしていたところ、バランスを崩して転倒し、後頭部を強打した。事故発生後の約11時間後に、これを原因とする外傷性頭蓋内血腫により死亡したものの。
20	平成15年11月17日	産業廃棄物処理業	男	46	交通事故 (道路)	トラック	2トントラックを用いてコンプレッサーを作業場（東新鉄鋼）へ搬送中、突然ハンドルをとられ対向車線に大きくはみ出し、対向車線を走行していた11トントラックと激突。助手席に乗っていた被災者が死亡した。
21	平成15年12月1日	その他の製造業	男	49	はさまれ 巻き込まれ	その他の金属加 工用機械	工場において、マスクング（鋼管にビニールテープを貼りつける）作業及びジョイント（鋼管同士を工具で繋ぐ）作業を行っていたところ、次にマスクングを行う鋼管が移動し被災者の背後から激突、被災者の前にあったマスクングを終えた鋼管との間に挟まれ被災。搬送先の病院で死亡。